

公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

開始日時	2026 年 3 月 7 日 (土)	14 時 00 分
終了日時	2026 年 3 月 7 日 (土)	16 時 30 分
名称	第 159 回専門知識向上講演会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉商工会議所 13 階小会議室 + ZOOM リモート講演	
行事内容	1. 主催者挨拶 志澤達司支部長 2. 司会 進士誉夫技術士 3. 講演 「生成AIとエンジニア」 講師：戸塚 卓志先生 戸塚技術士事務所所長、技術士（情報工学部門）	
参加人数	会場出席者15名、リモート講演出席者51名、合計、66名	

講演概要：

本講演では「AI と LLM（大規模言語モデル）の急速な進化が仕事に与える影響と、実務での活用方法を解説していただいた。AI 性能は 7 か月で倍増し、推論効率も指数的に向上しているため、知識量や経験だけに依存する従来型の「有能さ」は崩れつつある。LLM は常識推論や自然言語での操作が可能となり、調査、プログラミング、プロジェクト管理、資料作成など幅広い業務を効率化する。NotebookLM などを使えば大量文書の要約・比較も容易。AI 活用の本質は労務削減ではなく、意思決定や設計品質の向上にある。管理職は自ら AI を使いこなし、メリットとリスクを理解したうえで組織を導く必要がある。質疑応答では、中小企業で AI 技術を普及させる方法や医学等での活用に関する質問があった。回答として、まずは自分の作業がラクになるように AI を使ってみることが重要である。総合診療等も基本的にはガイドラインに沿っているため、AI を活用できる可能性はあるとのことである。



主催者挨拶



会場風景



講演中

